

適用雑草及び使用方法

(2024年1月末現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量 (㎡当り)		使用方法	総使用回数*
			薬量	希釈水量		
西洋芝 (ベントグラス)	ヒメクグ 一年生広葉雑草	春夏期 芝生育期 (雑草生育期)	0.1~0.2ml	100~200ml	雑草茎葉散布 又は 全面散布	3回以内
日本芝 (こうらいしば)						

*本剤およびフェンキノトリオンを含む農薬の総使用回数の制限を示す

有効成分と性状

種類名	フェンキノトリオン水和剤
有効成分	フェンキノトリオン…18.5% 【2-[8-クロロ-3,4-ジヒドロ-4-(4-メトキシフェニル)-3-オキノキサリン-2-イルカルボニル]シクロヘキサン-1,3-ジオン】 水、界面活性剤等…81.5%
性状	淡黄色水と性粘稠懸濁液体

安全性 (製剤)

人畜毒性 (急性) 普通物*	経口	ラット♀	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	刺激性	ウサギ♀	皮膚 刺激性なし 眼 刺激性あり
	皮膚感受性	モルモット♀	感受性なし
水産動植物 に対する 影響	コイ		LC ₅₀ >107mg/L (96hr)
	オオミジンコ		EC ₅₀ >75mg/L (48hr)
	藻類		ErC ₅₀ 1.3mg/L (72hr)

*普通物 (毒物・劇物に該当しないものを指している通称)

効果・薬害等の注意事項

- 使用の際は容器をよく振って均一な状態にして使用してください。なお、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌してください。
- 薬液が雑草茎葉全体に均一にかかるように散布してください。
- 本剤は散布後にこうらいしばが淡緑化もしくは白化することがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 高温時や強い踏圧を受けるなど、芝生の生育が停滞するもしくは芝生が過度なストレスを受けた条件下では薬害が生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- 本剤を反復処理する場合は、3週間以上の間隔をあけて散布してください。また、芝生が淡緑化もしくは白化している場合には使用をさけてください。
- ターフ形成前の芝には薬害を生じるおそれがあるので、ターフ形成後の芝生に使用してください。
- 激しい降雨が予想されるときは使用をさけてください。
- 蚕に対して影響を及ぼすおそれがあるので、養蚕で使用する桑葉にかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては適用作物、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

- ラベルをよく読む。●記載以外には使用しない。●小児の手の届く所には置かない。
- 空容器は圃場などに放置せず適切に処理する。●直射日光をさけ、食品と区別して低温な場所に密栓して保管。

製造販売元 株式会社 理研グリーン
〒110-8520 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 8F
TEL.03(6802)8571 FAX.03(6802)8577 https://www.rikengreen.co.jp

株理研グリーン・パートナーショップ

札幌駐在 TEL・FAX：仙台支店にて受付 名古屋支店 TEL.052(218)3060 FAX.052(218)3061
仙台支店 TEL.022(222)9599 FAX.022(267)6505 大阪支店 TEL.06(6781)1691 FAX.06(6871)1811
東京支店 TEL.03(6802)8943 FAX.03(6802)8953 福岡駐在 TEL・FAX：大阪支店にて受付
静岡支店 TEL.054(283)0691 FAX.054(291)4261



悠々と、除草の荒波を乗り越える!

目で見て実感!
ヒメクグを白く枯らす!

製品規格：500ml×2本

®：クミアイ化学工業登録商標

製造販売元 株式会社 理研グリーン



トリトン[®]SC

ベントグリーン内や コウライシバに発生した ヒメクグに!

トリトン
大船に乗る安心!

特長

- 1 対象雑草の茎葉部に白化症状を引き起こし、枯死させるため薬剤の効果を目で見て実感することができます
- 2 ベントグラスに対する安全性が高い薬剤です
- 3 ALS阻害剤低感受性ヒメクグにも卓効を示します

しぶといヒメクグを茎葉処理で白く枯らす!

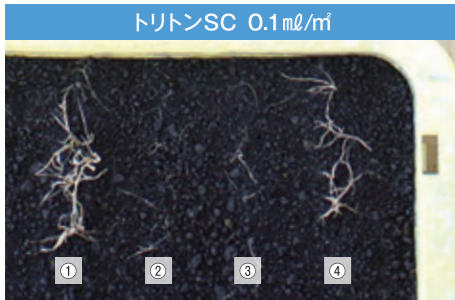
作用機構

有効成分エフィーダ[®] (一般名: フェンキノトリオン) は植物の光合成電子伝達経路のプラストキノンの生合成に参与する4-HPPDを阻害します (HRAC: 27)。また、カロテノイドの生合成経路が阻害されクロロフィルが光酸化することにより、雑草の茎葉部が白化し枯死に至ります。

(散布日: 2021年3月2日 薬量: 0.2ml/m² 水量: 200ml/m² 対象雑草: ヒメクグ 生育期)



ALS阻害剤低感受性ヒメクグにも効果を示します



実施場所/ 農研研グリーン グリーン研究所 ガラス温室
試験規模/ 12.5×16.5cm プラスチックポット
対象雑草/ ヒメクグ 発生初期
採取地/ ①福岡県 (2019年)、②静岡県 (2020年)、③岐阜県 (2021年)、④静岡県 (2021年)
処理日/ 2023年4月25日 水量/ 200ml/m²

調査日/ 2023年5月16日 (処理21日後)
調査方法/ 目視による除草効果の調査
試験結果/ 対照A剤は採取地ごとに除草効果の変動が認められ、特に①③④に対する除草効果が低かった。トリトンSCは、いずれの採取地のヒメクグに対してもほぼ同等の除草効果を示し、除草効果が際立って低い採取地は認められなかった。

上手な使用方法

薬剤散布適期とヒメクグの発生活長*



*発生活長および散布適期は地域によって異なります。

使用のポイント

- 初回散布時期は4~6月を推奨します。2回目処理は前回散布から3~4週の間に行ってください。
- 日本芝に対して薬害のリスク (茎葉部の白化) があるため注意してください。
- ヒメクグが群生しているところでは、ヒメクグが枯死した後に裸地化する恐れがあります。
- トリトンSCの散布から1~2週間後にUVカット資材を散布すると効果が低減する可能性があるため、本時期の散布はなるべく避けてください。

樹木に対する影響

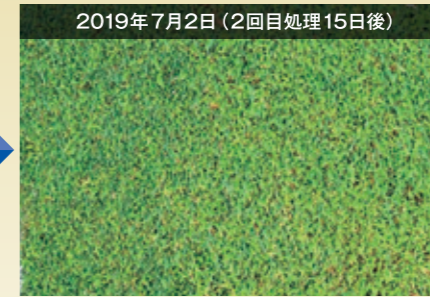
トリトンSC (0.2ml/m²) 茎葉散布により影響がみとめられた樹木

- ウメ
- ナワシログミ
- サクラ
- ツゲ
- キョウチクトウ
- アジサイ
- ヒイラギ
- クチナシ
- ヤマモモ
- ツツジ
- イヌツゲ
- ヒバ
- ツバキ
- サンゴジュ
- イロハモミジ

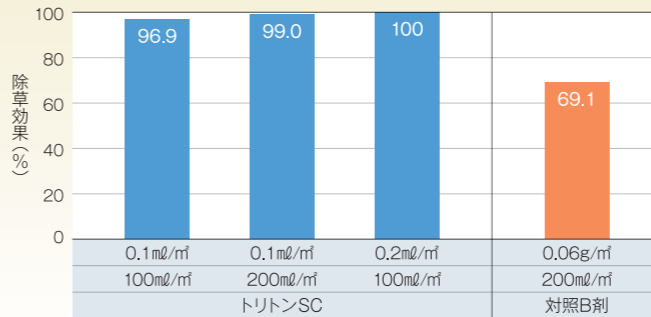
赤字は特に強い影響がみとめられた樹木

上記すべての樹木では茎葉部の白化が認められ、白化した葉は回復することなく枯れ落ちるため、樹木へ薬液がかからないようにしてください。

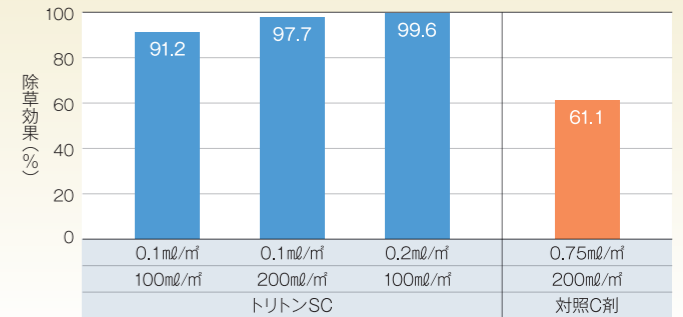
ヒメクグに対する効果



実施場所/ 農研研グリーン グリーン研究所 グリーンカラー様管理区
草種/ ベントグラス 生育期
対象雑草/ ヒメクグ 生育期
薬量/ 0.1ml/m²
水量/ 200ml/m²
散布方法/ 加圧噴霧器にて散布
散布日/ 1回目 2019年5月18日 2回目 2019年6月17日
調査日/ 2019年7月2日
試験結果/ 生育期のヒメクグに対し、2回処理を行うことで高い除草効果が認められた。



実施場所/ 愛知県内ゴルフ場 グリーンカラー
草種/ ベントグラス 生育期
対象雑草/ ヒメクグ 生育期
散布方法/ 加圧噴霧器にて散布 茎葉処理 (全面)
散布日/ 1回目 2021年5月10日 2回目 2021年6月17日
調査日/ 2021年8月2日
調査方法/ 各区3反復の平均雑草発生本数より除草効果を算出。除草効果 (%) = (1 - 処理区発生本数 / 無処理区発生本数) × 100
試験結果/ 生育期のヒメクグに対して、2回処理を行うことで高い除草効果が認められた。ベントグラスに対して影響は認められなかった。



実施場所/ 農研研グリーン グリーン研究所 コウライシバ圃場
草種/ コウライシバ 生育期
対象雑草/ ヒメクグ 生育期
散布方法/ 加圧噴霧器にて散布 茎葉処理 (全面)
散布日/ 1回目 2020年5月14日 2回目 2020年6月23日
調査日/ 2020年8月3日
調査方法/ 各区3反復の平均雑草発生本数より除草効果を算出。除草効果 (%) = (1 - 処理区発生本数 / 無処理区発生本数) × 100
試験結果/ 生育期のヒメクグに対して、2回処理を行うことで高い除草効果が認められた。各処理時期とも処理7~14日後にコウライシバの茎葉部に淡緑化が認められ、それ以降は回復した。

ベントグラスに対する連用処理での影響

供試薬量 (ml/m ²)	処理時期	試験期間中の影響	症状
0.2	2020年 5月12日	-	なし
	6月 8日		
0.4	7月 2日	-	なし
	8月 6日		
0.8	(4回連続処理)	-	なし

実施場所/ 農研研グリーン グリーン研究所 (ベントグラス圃場: グリーン様管理区) 0.5m²/区 (反復なし)
試験期間/ 2020年5月12日~9月16日
散布方法/ 加圧噴霧器にて散布 散布水量200ml/m²
表示方法/ - (影響なし) ~ +++ (影響大) × (枯死) の指標にて評価
備考条件/ 試験圃場では春期に更新作業を実施
試験結果/ 試験期間中に影響は認められなかった

殺草スペクトラム表

科名	雑草名	除草効果
イネ科	メヒシバ	×
	スズメノカタビラ	×
キク科	ヒメムカシヨモギ	●
	オオアレチノギク	●
ナデシコ科	ツメクサ	●
マメ科	ヤハズソウ	□~○
カヤツリグサ科	ヒメクグ	◎~●

実施場所/ 農研研グリーン グリーン研究所内 温室 (ポット試験)
社内試験データより抜粋 ※いずれも雑草生育期処理
除草効果: 無処理区に対する残草量を記号で表記
● (0%) ◎ (1~5%) ○ (6~10%)
□ (11~30%) △ (31~50%) × (51%以上)

⚠️ コウライシバでの使用上の注意

- 日本芝 (こうらいしば) に対して一時的な薬害 (淡緑化~白化) リスクがあります。症状は2~3週間で回復する傾向にありますが、**薬量0.1ml/m²での使用が推奨されます。**
- コウライグリーンでの散布は避けてください。

実施場所/ 農研研グリーン グリーン研究所 コウライシバ圃場 (フェアウェイ管理区)
草種/ コウライシバ 生育期
水量/ 200ml/m²
散布方法/ 加圧噴霧器にて散布
散布日/ 2019年7月17日
調査日/ 2019年7月26日、2019年8月9日
試験結果/ 薬害の発症時期は処理約1週間後、症状は2~3週間で回復した。



(社内試験)